

## 8-2-2 業界展望を考える若手の会

### 1. 委員会の開催

若手の会は、全国から主に 20～40 代前半のメンバーが集まり活動を展開している。若手の会は、月 1 回程度の会合とあわせて、他支部の若手組織との連携や業界外の異業種との連携を図っている。今年度は、定例会を 7 回、イベント 3 回の開催に加え、コンサルティングエンジニア連盟との意見交換会、若手視点で各種 SNS による発信を行った。

### 2. 実績報告

#### (1) 建コン Assemble the WAKATE（支部交流会）

本部若手の会、各支部若手の会がそれぞれ単独ではなく、互いが協力し合い相互作用で若手の会を組立て、業界を盛り上げていくことを目的に、中部支部若手の会と協働で支部交流会を愛知県名古屋市にて開催した。

今回は、「ウェルビーイングの向上と多様性の受容」をキーワードに、中部支部で実施された意識調査を起点とした現状の把握や、異業種講師を招いた講演、ディスカッションを通じて、理想とする業界像を議論した。「業界認知向上のための SNS 広告」や「K-1 グランプリ開催」など、具体的な取り組み案も提示された。異業種比較による新たな気付きや同業他社の共通課題の認知を交流により提供した。

#### (2) 建コン WILLSUMMIT（全国交流会）

「若手の会の 10 年を振り返り、今後の建コン業界のビッグピクチャーを描く」をテーマに、全国 9 支部 10 組織の若手組織代表者 55 名が参加し、東京にて開催した。初日には、各支部の活動紹介に加え、國學院大學経済学部の手塚 貞治教授によるシナリオプランニングを用いた将来構想についての講義・グループワークを通じて、業界の未来像を多角的に検討した。2 日目には各社の制度、取組のアイデアを競う「K-1 グランプリ」を通じ、業界の未来像や理想の働き方に向けた実践的なアイデアを出し合い、参加者間の意見交換が活発に行われた。ビッグピ

クチャーとして「異業種との連携」や「宇宙開発へのチャレンジ」等の構想も議論され、若手らしい発想が飛び交う有意義な全国交流会となった。

#### (3) 沖縄地域交流会

沖縄地域の若手技術者と本部若手の会との交流を目的に、那覇市で交流会を開催した。現地の課題を象徴する「北谷ゲートウェイ」の現場見学を通じて交通や観光に関わる地域特性を学び、その後「沖縄特有のキャリア課題や暮らし」をテーマに議論した。沖縄特有の課題として「情報伝達の遅延」や「台風被害」、「テレワークの未浸透」等が挙げられ、これに対するアクションとして「沖縄タイム（勤務時間の調整）」や「地域合同ワーケーション」等の提案がなされた。企業間・地域間を越えた交流が初めて実現し、参加者に対して「横のつながり構築のきっかけ」、「離島ならではのキャリア形成を考える貴重な機会」等を提供した。

#### (4) コンサルティングエンジニア連盟との意見交換会

コンサルティングエンジニア連盟（CE 連盟）との意見交換会を開催し、建設コンサルタント業界の社会的・経済的地位向上に向けた具体的な施策や課題について議論を行った。今回の会議では、若手の会と連盟の双方が活動概要や課題認識を共有するとともに、若手の政治参加や準会員制度の役割などについて意見を交わした。

特に、「業界全体としての発信力強化」や「若手の声を議員に届ける仕組みの必要性」について活発な議論が展開された。

### 3. 次年度の活動について

次年度は、若手の会設立後 10 年の節目の年であり、新体制に刷新を予定である。従来からの「業界活性化の一大ムーブメントを興す」というミッションの思想はそのままに、協会各支部や業界内外とのネットワークを活用しながら、新たなフェーズに向けて、活動を推進していく予定である。

（業界展望を考える若手の会委員長

青柳 竜二）